

宮崎東病院

基本理念 <「主役は病める人」をモットーとして、患者さんの人権を尊重し、良質かつ高水準の医療を提供します>

病院紹介

当院は、宮崎市（人口 40 万人）の中心部より南東約 6km の日向灘に近接する広大な敷地内にあり、自然環境に恵まれた療養には最適の地です。宮崎県立赤江まつばら支援学校が隣接しており、密接に連携を図りながら療育医療の充実に努めています。

平成 29 年 4 月に児童精神科（精神病棟 30 床）が運用を開始し、筋ジス 50 床、神経難病 50 床、結核 16 床、一般 104 床と合わせて運用病床は 250 床となっています。

医療圏は、宮崎市をはじめ、西都市を含む児湯郡、東諸県郡、（対象人口約 53.3 万人）に及んでおり、救急医療においても宮崎市郡救急告示に基づく第二次救急医療施設として重要な責務を果たしています。

【施設概要】 2023. 7. 1（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒880-0911 宮崎県宮崎市大字田吉 4374 番地 1
2. 特徴 慢性呼吸器疾患（宮崎県結核医療の拠点病院）、筋ジストロフィー、神経難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、重症筋無力症、多発性硬化症、脊髄小脳変性症など）、児童精神科医療、小児内分泌代謝アレルギー医療、第二次救急医療
3. 診療科 14 診療科
内科、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、腫瘍内科、心療内科、外科、呼吸器外科、整形外科、児童精神科、小児科、リハビリテーション科、放射線科、歯科
病床数 250 床
（一般）2 階病棟、5 階病棟；120 床（結核病床 16 床を含む）
（精神） 1 階病棟；30 床
（神経難病）3 階病棟；50 床
（筋ジス） 4 階病棟；50 床
4. 薬剤師数（定数：5 名）
薬剤科長 1 名、副薬剤科長 1 名、薬剤師 3 名、助手 1 名
5. 主な業務
（ア）調剤 入院 22,626 枚/年、外来 472 枚/年（院外処方箋発行率 97.5%）
（イ）注射 入院 62,466 枚/年、外来 2,985 枚/年

- (ウ) 薬剤管理指導件数 1,457 件/年 (121 件/月)
- (エ) 無菌製剤処理料 I ; 915 件/年 (うち閉鎖式使用 0 件/年)、 II ; 0 件/年
- (オ) 外来腫瘍化学療法診療料 1 ; 406 件/年、2 ; 0 件/年
- (カ) 病棟薬剤業務実施加算件数 1 ; 2,886 件/年 (241 件/月)、2 ; 0 件/年
- (キ) 病棟薬剤業務 実施 (実施病棟数 2 : 2 階病棟及び 5 階病棟)
- (ク) チーム活動 ICT (感染防止対策加算 1、感染防止対策地域連携加算)、AST、NST、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム

6. 特徴的な業務
- 神経難病病棟での薬剤管理指導業務・持参薬確認
 - 筋ジス病棟での持参薬確認
 - 結核病棟での DOTS カンファレンスへの参加
 - 癌患者・ALS 患者を対象とした緩和ケアラウンドの実施

7. 2022 年度の取り組み
- 院外処方箋における疑義照会プロトコールの円滑な運用
 - 先発医薬品から後発医薬品への切り替えの推進
(後発医薬品使用体制加算 1 の算定維持)
 - 病棟薬剤業務の更なる充実

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	×

9. 目標 (2023 年度)

令和 5 年度病院目標

宮崎県民のため、安心して快適な医療環境を創出し、より優しい質の高い医療を提供する。

1. COVID-19 の終息後に向けて新たな診療機能を開拓する。
2. 患者の目線に立った医療を心がけ、患者満足度の向上に努める。
3. チーム医療を充実させ、各部門のレベルアップを図る。
4. 地域医療連携を強化し、大型医療機器の共同利用促進、がん診療機能の充実を図る。
5. 医師・看護師等の教育研修施設としての役割を果たす。
6. 難病対策協議会 (神経・筋分野) 拠点病院として、地域に貢献する。
7. 呼吸器 (感染分野) の拠点病院として、地域に貢献する。

8. 小児科、児童精神科の連携により小児の心身疾患の診療をさらに充実する。
9. 検診部門を活性化して地域住民の健康増進に貢献する。

令和5年度薬剤科目標

1. チーム医療に参画し、有効で安全な治療に貢献する。
2. 薬剤科と保険薬局との連携による事前合意プロトコールに基づく疑義照会簡素化の運用を継続する。
3. 教育研修に係る業務に参画し医療安全、治療効果向上に貢献する。